

2月定例記者会見要旨

初めにこれからの季節に相応しい桜の写真展「常陸国龍ヶ崎“観桜会”」の情報です。これは、県内の桜の古木を撮影し、大相撲の番付風にまとめた「茨城一本桜番付」を配信しているアマチュアカメラマン・坂野秀司（さかのしゅうじ）さんが撮影した桜の写真を展示するものです。

会場は中央図書館鑑賞室で、開催期間は2月24日（日）から3月1日（金）まで。期間中は、本市の般若院の枝垂桜の写真20点をはじめ、100点を超える県内の桜の写真が展示されるほか、初日の24日には、坂野さんの講演会があり、大型スクリーンに桜の写真を写しながら、桜の歴史や逸話などを語っていただきます。

写真をご覧ください、また講演を聞きながら、今年は、どの桜を見に行こうかと考えるのも楽しいのではないのでしょうか。ぜひ、多くの方にご来場いただきたいと思います。

続きまして、龍ヶ崎トマトの出荷開始及び目揃え会（めぞろえかい）の情報です。

龍ヶ崎市ブランド農産物認定制度第1号で、茨城県青果物銘柄産地の指定を受けております本市自慢の「龍ヶ崎トマト」の出荷が今年もスタートいたします。

主にJA水郷つくば竜ヶ崎施設園芸部会10名の熟練生産者により、丹精込めて栽培されております「龍ヶ崎トマト」は、レディーファーストトマトという品種で、甘さと旨みと酸味が絶妙なバランスで調和し、濃厚かつ深い味わいが特長です。

原種に近く、トマト本来の味がすることからトマト嫌いな子供たちからも、「このトマトなら食べられる」という声が寄せられており、限られた熟練生産者たちが「未来の子供たちに伝えたい」という想いで、龍ヶ崎トマトを生

産し、その味を守り続けています。

出荷を迎えるにあたり、同部会では本日2月18日の午後4時からになりますが、出荷先の東京都中央卸売市場大田市場、水戸市公設地方卸売市場の担当者を招いて「目揃え会」が行われ、出荷規格や品質等を再確認し、最高の状態で市場に出荷・販売できるよう準備を整えます。

まもなく市内スーパーの店頭などにも、ひとつひとつ丹精を込めて育てられた龍ヶ崎トマトが並ぶことと思いますので、市民の皆さんもぜひお買い求めいただき、その「甘さと旨みと酸味の絶妙なバランス」をご賞味ください。

最後に、再犯防止対策にかかる就労支援協定締結式の情報です。

これは、保護観察対象者が地域社会で安定した生活を営むための、自治体の支援を目的としたもので、このたび、本市・牛久市・河内町の2市1町が合同で、県内の自治体としては初めて、龍ヶ崎地区保護司会及び水戸保護観察所と「保護観察対象者の就労支援について」協定を締結することとなりました。

保護観察者の再犯防止のためには、就労支援や雇用の確保が非常に重要とされており、民間ではすでに「協力雇用主制度」が運用されておりますが、本協定はこの制度の「自治体版」となるものです。同保護司会等から推薦された保護観察者を自治体の臨時職員等として一定期間雇用することで、その後の本格的な社会復帰につなげる仕組みを構築したいと考えております。

本市ではすでに更生保護対策の一つとして、県内自治体としていち早く更生保護サポートセンターの設置・運営に対する支援を行っておりますが、今回の協定が、保護観察対象者の社会復帰、ひいては地域の安全・安心の更なる向上に貢献するものと考えております。

以上で私からの情報提供を終わらせていただきます。

なお、詳細につきましては、この後、担当から説明させていただきます。